

ごあいさつ

日頃より皆さまには、北陸労働金庫に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2017年度の国内経済は緩やかに回復し、企業と家計の所得改善を背景に個人消費と設備投資が底堅く推移したことから、実質成長率は10-12月期まで8四半期連続でプラス成長となりました。一方、金融情勢は、日銀の長短金利操作付き量的・質的金融緩和の枠組みが維持されてきたことから、金利は極めて狭いレンジの中で推移しました。このため、金融機関にとっては、利鞘の縮小が進むなど厳しい経営を余儀なくされました。

こうしたなか、当金庫では、第6期中期計画の初年度にあたる2017年度は、「Ⅰ.会員・推進機構等との連帯と協働による、ろうきん運動の前進」、「Ⅱ.安心してご利用いただける商品・サービスの提供」、「Ⅲ.お客さまの期待に応える『人財』育成」、「Ⅳ.安定した経営基盤の構築」の、4つの柱を掲げ、取り組みを進めてまいりました。また、重要課題に対しスピード感を持って対応していくために、常勤役員を中心に「北陸労働金庫改革会議」を設置し、「組織体制の見直し」、「収益増加対策」、「経費削減対策」、「会員還元対策」、「人材の育成」を課題とし、将来にわたり安定した事業運営を継続的にを行い、「働く人々の生活を守り、生活向上を目指す金融機関」としての使命を果たしていくための論議を進めてきました。

2018年度は、金融機関の経営環境がさらに厳しさを増すものと予想されますが、当金庫は、今後も勤労者のための福祉金融機関として、その機能を遺憾なく発揮できるよう、住宅ローンだけに依拠しない持続可能なビジネスモデルの構築に取り組みます。

また、各労働者福祉事業団体をはじめ、会員・推進機構、退職者組織等との一層の連携強化を図り、「暮らしステップアップ運動」の展開や、お客さまのニーズに対応する新商品の発売等、安心してご利用いただけるサービスの提供に努めてまいります。さらに、徹底した経費削減の取り組みや店舗政策に基づく店舗統廃合の論議等を進めるとともに、収益・リスクテイク・自己資本の適正なバランスの維持に努め、RAF（リスクアパタイト・フレームワーク）の構築を図るなかで収益力の強化に取り組み、今後も、お客さまとの信頼関係を強め、働く人々が安心してご利用いただける事業運営に努めてまいります。

皆さま方には、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2018年 7月

理事長 森本 富志雄

当金庫の概況

2018年3月末現在

名称：北陸労働金庫
所在地：石川県金沢市芳斉2-15-18
設立：1954年5月1日
(2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)
常勤役員数：503人
店舗数：31店舗(富山県10、石川県12、福井県9)
事業内容：労働金庫法に基づく預金、融資、為替、
国債・投信販売など金融業務全般
出資金：40億31百万円
団体会員数：1,866会員
間接構成員数：397,258人
預金残高：7,500億70百万円
貸出金残高：4,010億76百万円
自己資本比率：単体10.54% 連結10.57%
関連子会社：(株)北陸労金サービス

全国ろうきんの概況

2018年3月末現在

金庫数：13金庫
店舗数：632店舗
常勤役員数：11,478人
会員数：128,496会員
(うち団体会員数52,158会員)
間接構成員数：10,753,335人
出資金：955億円
預金残高：19兆7,257億円
貸出金残高：12兆7,454億円

